

音楽科 公開授業・授業研究会

授業者 安中市立原市小学校 中山 繭美 教諭
平成26年12月5日(金) 第6学年



個々につくった「私の海」を組み合わせ、「私たちの海」をグループでつくっていく『音楽づくり』の学習を公開しました！



授業研究会では、提案された手立てを基に、思いや意図の生かし方や音楽づくりなどの課題やその対応策について、様々な意見が交流され、授業改善に向けて多くのヒントが出されました。

【題材】 6年『海のイメージから音楽をつくろう』

教材 「交響組曲『シェエラザード』から『海とシンドバッドの船』」（鑑賞）
「海のイメージから音楽をつくろう」（音楽づくり）

【本時のねらい】

個の思いや意図を基に「私の海」の旋律を組み合わせ、強弱、音色、速度の工夫や旋律の反復を取り入れながら「私たちの海」をつくり、音楽を特徴付けている要素や音楽の仕組みを生かして表現を工夫する力を伸ばす。

【伸ばしたい資質・能力】

- ・強弱、音色などを変化させたり、旋律の反復を取り入れたりすることと、曲想との結び付きについての知識
- ・表したい「私たちの海」に合わせて、強弱、音色などを変化させたり、旋律の反復を取り入れたりして表現を工夫する力



【提案する手立て】

- ①グループの「私たちの海」をつくりながら、個の思いや意図を生かす工夫
(実践の手引きP77「(4) 思いや意図をもつこと」)
- ②個の思いや意図を、共有し合うための工夫
(実践の手引きP79「(3) 授業のポイントにおける手立ての例」)

授業の様子

1. リズム遊びをする



いくつかのリズムパターンを示し、組み合わせてリズム打ちをするよう促しました。



普段から取り組ませることで様々なリズムパターンに慣れさせることができます。

勢いのある感じにするためには、どのように打ったらよさそうかな。



強弱や速度などを変化させると感じを変えられることを確認しました。

2. 本時のめあてをつかむ

前時に試した「私たちの海」の表現を振り返るよう促したり、本時に取り組みたい強弱、音色などの工夫を発表させたりして、本時のめあてをつかめるようにしました。



【めあて】

「私の海」を組み合わせ、強弱や音色などを工夫して、イメージに合う「私たちの海」の音楽をつくろう。

<p>音楽づくりの手順</p> <p>① 海のイメージに合うように 「私の海」を組み合わせ、演奏する。 7分</p> <p>② 聴く人にイメージを伝えるためには、どうすれば良いか考え、強弱や音色などを工夫して楽器で試し、「私たちの海」の音楽をつくる。 20分 →発表できるようにホワイトボードに工夫など書き込んでおく。</p>	<p>グループ活動で気を付けること</p> <p>①「私の海」は、作曲者が主役!</p> <p>②友だちの音に注目!</p> <p>③使った良いのはレモソラン!</p>
--	---

「私の海」をつくった児童の思いや意図を尊重することや、個の思いや意図を共有することを全体で確認しました。

(手立て①②)
《実践の手引き p.77》
《実践の手引き p.79》

3. 「私たちの海」をグループでつくる

前時までに個々がつくった「私の海」を組み合わせ、「私たちの海」にしていきました。

手立て①

私の「私の海」は、「たくさんの生き物が踊っている感じ」なので、〇〇さんのつくった「私の海」とつなぎ、繰り返したいな。



「私たちの海」では、海の生き物の一日の様子を表してみようよ。

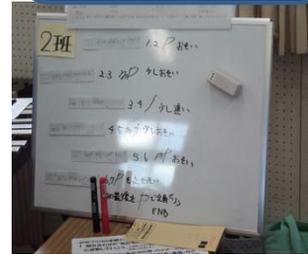


朝は、この旋律をつくった〇〇さんの「たくさんの生き物が踊っている感じ」を出せるように、みんなで強く演奏しよう。



手立て②

どのように演奏するか確認し合えたことは、ホワイトボードに書かせ、思いや意図を可視化して共有できるようにしました。



生き物が遊び疲れた感じを出せないので。



マレット (ばち) を柔らかいタイプに変えてみてはどうですか?

教師は、子供の気付かない工夫を中心に助言しました。



夕方に海の生き物が遊び疲れて帰っていく様子を表すために、音を弱くしたり速度を遅くしたりすると、さらに感じを出せるね。

授業の様子

4. つくった「私たちの海」を発表する



これから発表してもらいます。生き物が何をしているところか想像して聴きましょう。

もっともイメージが伝わる部分を選ばせ、発表させました。



生き物が何をしているところだと思いますか？



たくさんの生き物が踊っている感じがしました。



何でそのように伝わったのだと思いますか？

全員で音を強くしたり、弾ませたりしていたからだと思います。

5. まとめ



今日の授業で、表現を工夫したり、友達の演奏を聴いたりして、どんなことを感じたり、分かったりしましたか。

いくつかの楽器やマレットで、たくさんの音色を出して強く叩くと、にぎやかな感じになることが分かりました。



強弱や音色を工夫して、自分たちのイメージを出せていた人が多かったですね。次の時間の発表会が楽しみですですね。

【授業研究会での意見】

<よかった点>

- ・個が旋律をつくり、演奏できているのがよい。音楽の諸要素について日常的に指導がされていることから、子供が要素の工夫を活用して音楽づくりをしていた。
- ・各自が旋律をつくっているので、グループでも意欲的に音楽づくりにかかわっていた。
- ・ホワイトボードやワークシート等によって、視覚的に思いや意図が共有できていた。



<改善点>

- ・グループのイメージを表現し切れていなかった疑問。音楽づくりの授業でも、技能を高めるための指導は必要である。
- ・他のグループとの交流があると、生徒も改善点に気づきやすいのではないか。
- ・なぜ、このような工夫をしたのか、根拠をはっきりできるようなワークシートの工夫や教師の問い掛けがあるとよい。

【参加者の声】

- ・リズム遊び（常時活動）、グループ活動、振り返りの流れがとても参考になった。
- ・音楽づくりをさせるときには、まず、個の思いや意図をしっかりとらせたかった。
- ・思いや意図をもたせ、試行させるための授業の流れが以前よりイメージできるようになった。
- ・個の思いや意図と集団での音楽づくりとの結び付け方について考えるよい機会となった。



【授業者の感想】



グループのイメージを追求する中で個の思いや意図を生かすのか、個の思いや意図を生かすためにグループを活用するのか最後まで迷って授業に入ってしまった。皆さんの御意見をありがたく受け止め、よりよい授業づくりにつながるようがんばっていきたい。